

避難

避難とは

ハザードマップや地震などを確認した結果、危険な場所にお住まいの方は、災害に応じた避難が必要です。

避難とは『難』を『避』けることをいいますので、**安全な場所にいる方まで避難する必要はありません。**

また、市の指定する避難所に避難することだけが「避難」ではありません。

避難行動の目的

避難行動は、数分から数時間後に起こるかも知れない自然災害から「生命又は身体を保護するための行動」です。次の3点を、把握しておきましょう。

- ① 災害種別ごとに命を脅かす脅威があるのか
- ② 脅威に対してどんな避難行動をとれば良いか
- ③ どのタイミングで避難行動をとれば良いか

内閣府「避難情報に関するガイドライン」より

避難行動を確認する

警戒レベル	市民が取るべき行動	市の発令する避難情報	気象情報(気象庁)	洪水予報(河川国道事務所と気象台が共同)
5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	大雨特別警報(浸水害) 大雨特別警報(土砂災害)	氾濫発生情報

《警戒レベル4までに必ず避難を!》

4	危険な場所から全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨警報(浸水害) 大雨警報(土砂災害)	氾濫警戒情報
2	自らの避難行動を確認	-	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める	-	早期注意情報	-

避難行動のポイント

立ち退き避難(水平避難)

避難行動の基本は立ち退き避難(水平避難)であり、安全な場所へ移動

屋内安全確保(垂直避難)

屋内に安全な場所がある場合は、上階への移動(垂直避難)や高層階に留まる(待避)などの行動

緊急安全確保

逃げ遅れた場合や立ち退き避難を安全にできない場合は、命を守る最善の方法を自ら判断し行動



分散避難のすすめ

避難所に多くの方が避難して密になると、新型コロナウイルスなど感染症の感染リスクが高まります。

避難が必要な場合は、「避難所への避難」以外にも、安全な場所にある親戚や知人宅等への「縁故避難」、自宅で安全が確保できる場合の「在宅避難」、避難生活に車を活用する「車中泊避難」など、ご自身や家庭及び地域の実状にあった避難方法を選び、分散して避難することが大切です。

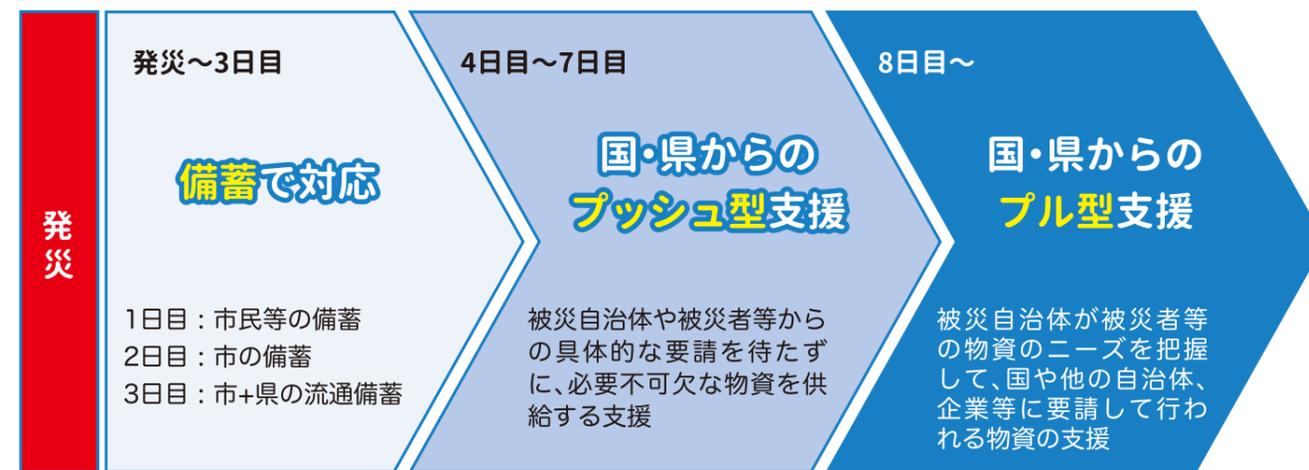


NHK「新型コロナと災害避難はどうする?」より

災害時の支援物資の流れ

大規模災害が発生した場合、国や県から食料品などの救援物資が届けられることになっていますが、国による物資の調達や配送には時間がかかるため、発災後3日間は市民や市の備蓄によって対応する必要があります。

このうち、1日目は市民の方ご自身や市内事業所の備蓄で対応いただき、2日目は市の備蓄を、また、3日目には市と県の流通備蓄(※)により対応することになります。



なお、自宅外へ避難される際は、少なくとも1日分の食料・水等を持参するとともに、市の備蓄物資や県の流通備蓄で市内全域がカバーされない場合に備えて、最低3日分(できれば1週間分)の備蓄をしていただくことをお勧めします。

※ 流通備蓄・・・民間企業との災害時の協定に基づき、流通段階にある商品(食料、資器材)を優先的に供給いただくもの。

家庭での備蓄について P11

複合災害への対応

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行しているときに自然災害が発生すれば「複合災害」となり、災害対応も変わってきます。

市民の皆様は、災害時に避難所に避難する際には、感染症対策としてマスクや消毒液、体温計を携帯してください。



内閣府・消防庁「知っておくべき5つのポイント」より

ペットの災害対策

ペットを飼育している方は、災害時に避難所に行く際は、以下の理由から、ペットを連れて避難することとされています。市では、避難所におけるペット同伴避難室や屋外飼育場の確保を急いでいます。

- ① ペットは家族の一員という意識
- ② 飼い主である被災者の心のケア
- ③ 放置犬猫等が野生化するおそれ



環境省「人とペットの災害対策ガイドライン」より

災害・避難カード

巻末ポケットに「災害・避難カード」を収納しています。平素からご自身や家族の連絡先や避難先等を記入しておきましょう。

避難する際は、災害・避難カードを携帯しましょう。

オモテ面		ウラ面	
災害・避難カード		家族(頼りになる人)の緊急連絡先	
名前	美馬 太郎	氏名	連絡先(自宅・携帯等)
性別	男	血液型	予定避難先
生年月日	〇年〇月〇日	花子	090-0000-0000
住所	美馬市〇〇町〇〇番地	一郎	090-0000-0000
電話番号	030-0000-0000		
予定避難先	〇〇		
留意事項	アレルギー(〇〇,〇〇)		
避難時はこのカードを持って行く!		電話がつかないときは、171(災害用伝言ダイヤル)にメッセージを残す	
		自分の居場所を伝える 録音 [1]	
		家族の居場所を調べる 再生 [2]	